

お家で読もう！

キッズかわら版

アイヌの住居「チセ」

旭川市博物館の展示室と、嵐山の伝承のコタンには、チセが復元されています。

チセを作る材料は、すべて木や草などの自然物です。カツラやカシワなどの腐りにくい木で柱を立てます。柱と柱の間に横木をわたし、屋根と壁をふきます。ふく材料は、旭川では笹が使われていますが、地域によって違いがあり、カヤを使う地域や、樹皮を使う地域もあります。それぞれの部材を縛り付けるのには、ブドウツルなどが使われます。



チセの中は？

中央には炉があります。炉のそばは家族が仕事をしたり、食事をしたり、生活の中心となる所です。炉にはアペフチカムイ（火の神様）が宿っていて、常に家の中を見渡し、人々の暮らしを見守ってくれていると信じられています。

また、炉の奥にある窓はロルンプヤラ（またはカムイプヤラ）といいます。ここは神様が入り出す窓として大切にされており、この窓から家の中をのぞくことは、儀式など特別なとき以外は絶対にしてはならないこととされています。

「字消し」～その歴史と種類～

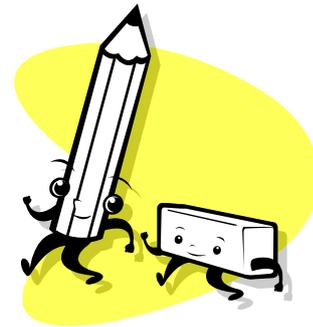
「字消し」とは、紙に鉛筆で書いた字を消すものです。

大昔の「字消し」は、古くなったパンで「木炭
デッサン」などを消す、今でも美術界で使われる
「字消し」です。



1770年、天然ゴムが「字消し」に使えることがわかり、「消しゴム」が生まれました。

1959年には、日本で「プラスチック字消し」が誕生し、「ゴム字消し」に取って代わります。



このほかに、人知れず作られた「字消し」があります。

戦時中、物不足の日本で、油と薬品の化学反応で、「消しゴム」そ
っくりの「代用消しゴム」が作られました。

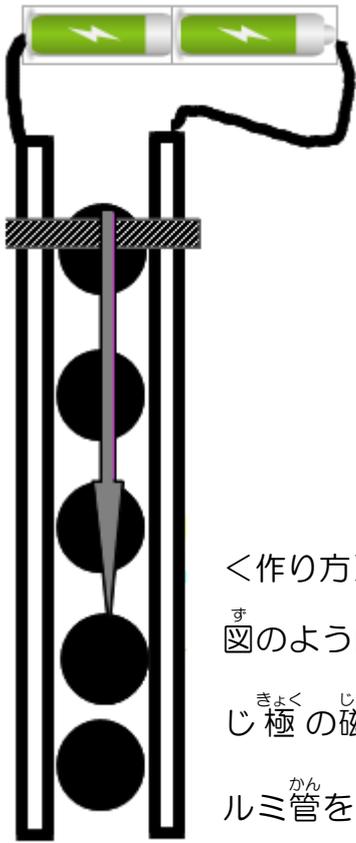
今の日本の高い技術力は、不便なくらしを代用品で支えたこと
と関係があるのかもしれませんが。

参考資料：子供の科学(15年前くらいに刊行されたもの・代用消しゴムの項)

Wikipedia:ウィキペディア フリー百科事典 <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

モーターと遊ぼう！！

リニアモーター



ざいりょう
＜材料＞

- ・アルミ管
長2本 短1本
- ・マンガン電池2個
- ・導線 2本
- ・フェライト磁石
極が上下タイプ

＜作り方＞

図のようにアルミ管の間に、同じ極の磁石を並べる。短いアルミ管を上のにのせる。乾電池を直列につなぎ、アルミ管と導線をつなぐ。

※電池の極や磁石の極を変えると反対に動く。

私たちの身の回りには、ドライヤーや洗濯機など、モーターを使っている道具がたくさんありますね。学校でも、乾電池とモーターをつないで実験をしたと思います。モーターの中には、磁石とコイル（導線をぐるぐる巻いた物、導体とも言う）が入っていて、電流を通すと力（電磁力）が発生するので回転します。また、リニアモーターは、回転しないで、直線に運動します。今回は、アルミ管に電流を通して磁界を発生させ、磁石に反発して動く仕組みの【リニアモーター】とモーターを使ったくるくる回る【歯ブラシ振動おもちゃ】を紹介するので、つくって遊みましょう。

科学館では、様々な科学クラブや楽しい実験ショー・イベントがたくさんあります。皆さんに会えることを心から楽しみにしています！



- ＜材料＞・ダンボールや薄い板（5cm×10cm）・電池・導線
・モーター・歯ブラシのブラシの部分2個・消しゴム8mmはばに切り取る

＜作り方＞写真のように消しゴムのはじめに穴を開け、モーターの先に取り付ける。モーターと電池をつなぎ、両面テープではる。裏側に歯ブラシを両面テープで付ける。

※台紙の一方を少し斜めに切ると動きが緩やかになる。歯ブラシの付

け方で動きが変わる。



うきよえ 浮世絵

江戸時代に生まれた浮世絵。歌舞伎役者や芝居の一場面、風景など、様々なものを題材にしました。

浮世絵には、絵師が顔料（絵の具のこと）を使い、直接紙などにえがいた肉筆のものと、木版画で制作された版画のものがああります。一点物の肉筆

浮世絵と違って、版木を刷れば大量に同じ絵を制作できる浮世絵版画は、安い価格で販売することができ、庶民も手に入れることができるようになりました。

そのため版画の浮世絵は、幅広い階層の人々に、情報を伝えるという役割も持ちました。流行のファッションや人気の観光地の紹介、芝居や商品の宣伝など。今の雑誌のような一面を持っていました。

また、浮世絵の大胆な構図やカラフルな画面は、海外の画家にも影響を与えました。オランダの画家・ゴッホは浮世絵を模写した作品を残しており、たくさんの浮世絵を集めていました。



三世大谷鬼次の奴江戸兵衛
（さんせいおおたにおにじのやっこえどべえ）
東洲斎写楽（とうしゅうさいしゃらく）

この冬、博物館では、第73回企画展「浮世絵を伝える技 摺師 三田村努の世界」を開催中！（1月18日まで）ぜひ見に来てね。

発行日 平成26年12月15日

編集 旭川市教育委員会 社会教育部 旭川市科学館・旭川市博物館

旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号

TEL 0166-31-3186 FAX.0166-31-3310

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/kagakukan/>

旭川市博物館 〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目（旭川市大雪クリスタルホール内）

TEL 0166-69-2004 FAX.0166-69-2001

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/museum/>